

平成 30 年 1 月 19 日

伊丹市昆虫館と伊丹市内郵便局の連携事業を紹介した論文が公益財 団法人日本博物館協会から博物館活動奨励賞を受賞しました

平成 29 年 11 月 29 日から 12 月 1 日にかけての 3 日間、大分県 iichiko 総合文化センターで公益財団法人日本博物館協会（銭谷真美会長）による第 65 回全国博物館大会が開催されました。全国各地から博物館や教育関係者など約 400 名が参加したこの大会において、伊丹市昆虫館は同協会より博物館活動奨励賞を受賞しました。受賞理由は伊丹市昆虫館スタッフが月刊誌博物館研究に投稿した論文「郵便局と博物館 地域連携の事例と可能性」が優秀な報告レポートに選ばれたからです。

【博物館活動奨励賞について】：公益財団法人日本博物館協会が行っている顕彰の一つです。博物館関係者の資質の向上と意識の高揚を図るために、毎年、有識者博物館活動奨励賞選考委員会が組織され、「博物館研究」に掲載された原稿の中から選ばれた優秀な報告レポートに対し贈られる賞です。今回は伊丹市昆虫館スタッフ（野本康太・奥山清市・坂本昇）が「博物館研究」に投稿し平成 28 年 5 月号に掲載された「郵便局と博物館 地域連携の事例と可能性」と八尾市立しおんじやま古墳学習館（同年 7 月号掲載「八尾市立しおんじやま古墳学習館の取り組み-巨大古墳のある小さなミュージアムの奮闘記録」）が優秀な報告レポートとして選ばれました。 ※「博物館研究」とは日本博物館協会が出版する月刊の研究雑誌です。

【全国博物館大会について】：日本博物館協会が 1953 年より毎年 1 回開催しています。全国から数百人の参加者が集い、数日間にわたる講演、フォーラム、シンポジウム、分科会を通して博物館（歴史博物館や郷土資料館、美術館、科学館、動物園、水族館、植物園など）に関する諸問題について研究協議や情報交換を行います。 ※日本博物館協会は 1928 年に発足し、博物館に関する諸事業の実施を通じて、博物館の健全な発達を図り、社会教育の進展に資するとともに、我が国の教育、学術及び文化の発展に寄与することを目的として活動しています。

【伊丹市昆虫館と伊丹市内郵便局の連携について】：地域の自然や手紙文化の大切さを伝え、市民の暮らしを豊かにするための様々な取り組みを行なっています。連携を始めた 2009 年から現在までに一緒に昆虫切手を作ったり、昆虫や自然の展示やイベントを行ったり、伊丹の自然絵はがきの募集・展示を行ったり、河川敷の清掃活動を行なうなど、およそ月一回の情報交換を行いながら連携を続けてきました。 ※連携の内容をまとめた資料を添付しております。

P R E S S R E L E A S E

伊丹市昆虫館（平成30年3月31日まで長期休館工事中）は今回の受賞を記念し、ラスタホール（伊丹市立生涯学習センター）にて、博物館活動奨励賞受賞記念展示（1/16～1/31）を開催中です。伊丹市内郵便局との連携事業である「伊丹の自然絵はがき2017応募作品展」や「切手になった昆虫たち」などを展示しています。なお特別イベントとして1月28日（日）には「ラスタホールに昆虫館がやってくる！」と題し、昆虫館スタッフと市内郵便局長らによる「生きた虫とのふれあい体験」、「虫の塗り絵封筒づくり」を開催予定です。 ※同イベント資料を添付しております。

問い合わせ担当：

- ・ 公益財団法人いたみ文化・スポーツ財団
伊丹市昆虫館（担当：野本康太 奥山清市 坂本昇）
電話：072-785-3582 FAX: 072-785-2306 E-mail: ge7n-skmt@asahi-net.or.jp

- ・ 公益財団法人いたみ文化・スポーツ財団
ラスタホール（担当：坂本昇）
電話：072-781-8877 E-mail: lustrehall@hcc.bai.ne.jp

昆虫館と郵便局 地域連携の事例と可能性

伊丹市昆虫館と伊丹市内郵便局はコラボしてこんなことをしています

街の博物館と郵便局がコラボしたら面白いことができるかも!?

「地域に根ざした活動で人々の暮らしを豊かにしたい!」

1. 昆虫館と郵便局

伊丹市昆虫館と伊丹市内郵便局（全 20 局）は 2009 年から 2018 年現在にいたるまで、様々な連携を通して地域の自然や手紙文化の大切さを伝え、市民の暮らしを豊かにするための取り組みを行っている。この取り組みを報告した論文「博物館と郵便局 地域連携の事例と可能性」が博物館研究に掲載され、公益財団法人日本博物館協会より博物館活動奨励賞を受賞した。受賞を記念し昆虫館と郵便局の行なってきた小さなコラボを紹介する。



絵封筒でコラボ

2013～2015

「切手を通じて昆虫や自然、手紙文化に興味を広げるといいなあ」

2. きっかけは切手から



2009 年、当館は日本郵便のオリジナル切手作成サービスを利用して昆虫館オリジナル切手を製作。これを機に、街の郵便局との小さなコラボが始まる。同年にコラボ企画第1段となるフレーム切手「昆虫図鑑」を、2010年に「昆虫図鑑切手 part2」を、さらに2015年に「昆虫図鑑切手 part3」を製作し、伊丹市及び尼崎市内の 77 郵便局にて計 4,000シートを販売した。昆虫館では記念展示「切手になった昆虫たち」を開催し、好評を博した。また郵便局長を講師に迎え、いきもの切手を使った絵封筒づくり（右上）も実施している。



切手でコラボ

2009～2015

3. 小さなコラボいろいろ

「生きものや標本の展示には郵便局のお客さんも注目」



展示の広報コーナー

2009～2017

展示でコラボ



鳴く虫の展示コーナー

2012～2017

鳴く虫でコラボ

市内郵便局にて昆虫館の企画展、特別展のポスター掲示及びチラシ配布、昆虫標本展示などを行う。伊丹の秋の恒例行事「鳴く虫と郷町」期間中には各局内にてスズムシやキリギリスを飼育展示している。

「地域の河原を一緒にお掃除」



猪名川クリーン作戦

2013～2017

ゴミ拾いでコラボ

猪名川クリーン作戦に伊丹地区実施団体として参加。地域住民と協力しヒメボタルの生息場所を含む河川敷の清掃活動に取り組む。

「市民の目を通した地域の自然が大集合。応募をきっかけに初めて来館する人も」

2012～2017

絵はがきでコラボ

伊丹市内郵便局・伊丹自然史館 コラボ企画

「伊丹の自然」絵はがき大募集！！
～みんなの絵はがきを自然館に展示します～
郵便局窓口・応募用はがきももらって参加しよう！！

伊丹市内郵便局・伊丹自然史館に協賛する「伊丹の自然」をテーマにした絵はがきを募集します。伊丹市、伊丹区、伊丹町、伊丹町の自然をテーマにした絵はがきを募集します。伊丹市、伊丹区、伊丹町、伊丹町の自然をテーマにした絵はがきを募集します。

募集要項 伊丹市内郵便局窓口にて応募用はがきを配布いたします。
【テーマ】：伊丹で育つ自然の風景 【対象】：伊丹市・伊丹区・伊丹町
【人数】：1000名程度 【応募期間】：2012年8月1日～8月30日
【受付】：伊丹市内全ての郵便局 20 階の窓口

参加ご希望の方は郵便局窓口へ
応募用はがきは伊丹ロータリークラブよりご提供いたします。



伊丹の自然絵はがき展示



応募用はがきの贈呈式

市内郵便局にて「伊丹の自然絵はがき」を募集。希望者に伊丹ロータリークラブから寄付されたはがきを渡し「伊丹の自然」をテーマに絵を描いてもらう。作品は郵便にて昆虫館へ。応募作品(毎年約350点)全てを、昆虫館企画展「伊丹の昆虫と自然」会場にて展示、その後各郵便局や図書館ことば蔵などで展示した。

「地域密着が合言葉。博物館と郵便局、連携ネタは無限大」

4. あなたの街でもできるかも

当館と市内郵便局は、だいたい月に1度のペースで情報交換を行っている。今後お互い気楽に無理せず、小さなコラボを続けたいと考えている。「地域社会」に根ざした活動という点で、郵便局は博物館の先を行く存在である。街の郵便局との連携から我々博物館が学ぶことは多いのではないだろうか。博物館と地域社会との関わりの一つの形として、博物館と郵便局、一見関係なさそうな間柄だが、実はいろんな連携ネタが転がっているのかも知れない。



伊丹市昆虫館 × 伊丹市内郵便局

ラスタホールに 昆虫館がやってくる！

1/28 (日) 12:00 - 15:30

ラスタホール 1F エントランスホール

① 虫とのふれあい体験

たいけん

生きたカブトムシやクワガタムシ、ナナフシやチョウの幼虫などいろいろな虫と触れ合えます！



② 虫のぬり絵封筒づくり

えふうとう

虫の塗り絵でオリジナルの封筒を作ります。82円切手もついているので、手紙を入れたらすぐに使えます！

※材料費100円（82円切手付き）。所要時間は30-60分程です。事前予約の方はラスタホール1階事務所までお声掛け下さい。当日参加（少しお待ち頂く場合あり）も歓迎！



※このイベントに関する詳しいお問合わせは伊丹市昆虫館（072-785-3582）まで